



コミセン自主事業 R3. 12. 26 開催

風船王フージーのバルーン教室

今回で2回目となった風船王フージーことコミセン管理人でもある藤田和久さんによるバルーン教室。大好評につき、午前と午後の部に分けて開催。1回目からのリピーターの方も多く、大人も子どもも楽しんで作っています。令和4年度も計画をしていますので、地域のみなさん、世界大会2位の風船王と一緒に創作活動してみましよう！



かけ橋

潟東地域コミュニティだより

第70号

令和4年3月15日発行
潟東地域コミュニティ協議会



1/8(土)新春講演会

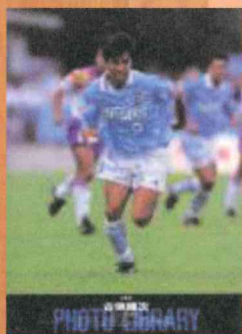


講師：古俣 健次氏 (美里在住)

演題：体育からスポーツへ

↳スポーツで地域貢献するために↳

元Jリーガーで日本代表でもプレーをした、現在潟東サルビアサッカー場(横浜)の施設長を務めている古俣健次さんを講師にお招きしました。講演は、体育とスポーツは似て非なるものであるというお話から始まり「体育」は教育の一環として運動能力や健康な生活を営む態度を養うことを指導するもので、「スポーツ」は身体運動の総称で、勝敗を競ったり楽しさを求めるものを指します。運動から遠ざかっている人たちにとってのスポーツの可能性(eスポーツ、スポGOMI)や、スポーツSDGs(SDGs:持続可能な開発目標)など大変貴重なお話を聴く事が出来ました。



新潟少年剣士会 令和3年度 少年剣道教育奨励賞 受賞！！



全日本剣道連盟が毎年全国の少年剣道教室を対象に選考し表彰しているもので、令和3年度の表彰に新潟県からは、新潟県剣道連盟の推薦を得た新潟少年剣士会と青海剣道教室、新潟県剣道道場連盟推薦の白根剣士会道場の3団体が選ばれました。

新潟少年剣士会は、昭和59年（1984年）設立以来剣道の普及活動と少年少女の心身の健全育成に献身的な活動を継続して取り組んでいることが認められ受賞となりました。

創設以来続けているのは、稽古の前に会の目的を全員で声を出して唱和してから稽古を始めています。「1・自分を大切にすること、2・心豊かな人になること、3・他人（ひと）には親切であること、4・感謝のことは忘れないこと、5・郷土を愛すること」

現在、小学生以下11名、中学生・高校生も含め16名が所属しており、暑い日も寒い日も毎週火曜日と木曜日の夜に稽古を行っています。最近は保育園児も体験に来ており、楽しく竹刀を振っています。

昨年12月に開催された「新潟県剣道道場連盟個人選手権」でも3年生の部で3位2名、その他中学生までの各学年でもベスト8に数名入賞するなど健闘しています。

今回の受賞を機に、これまで以上に子供たちに向き合い心身ともに他人を思いやる気持ちを育てて行こうと決意を新たにしました。そして、何よりこれまでご支援・ご協力をいただいた地域のみなさん、保護者のみなさんに感謝申し上げます。

新潟少年剣士会 会長 赤塚 宰

1/9（日）コミセンで恒例の初稽古を行いました。毎年子供たちは楽しみにしているもので、冬休みで運動不足の体を思いっきり動かして大きな声で気合を出し、約1時間ほど汗を流しました。稽古のあとはお楽しみ会があり、柔らかい刀で目隠ししての試合。これには保護者も含め会場内爆笑の渦でした。ビンゴゲームでは6年生が仕切ってみんなワーワー言いながら楽しみました。例年は、保護者の方々がお雑煮などを作りみんなで食べるのですが、昨年に引き続きできませんでした。来年こそ例年通りの初稽古が出来るよう願っています。



毎週火・木曜日の夜 19時30分～21時まで新潟中学校体育館で稽古をしています。

興味のある方は見学大歓迎です。

「渦中が目指す未来の姿」



委員と代表生徒で渦東中学校の重点目標についてグループワークをしました！

テーマ① 精いっぱい学ぶ生徒 (知)



- ・授業中のグループワークや振り返りは、自分のためになる。さらに教え合うことで、お互いの気付きにつながり、協働して高め合える関係ができる。
- ・自分のなりたい姿に対して、日頃から「何を学ぶか」を精一杯考え、行動することが大事である。
- ・学ぶことは一生涯続く。継続的な学びが大切である。



テーマ② 他者意識をもつ生徒 (徳)

- ・周囲の意見を尊重し、大切にしている心のある人に育ってほしい。
- ・先輩からの思いやりの言動に励まされる。これからも大切にしていきたい。
- ・まず、自分から挨拶をする、声をかけることを大切にする。
- ・相手の気持ちに寄り添い、理解することで、他者意識をもつ。



テーマ③ 健康・体力を増進する生徒 (体)

- ・部活動で心身を鍛えることができた。
- ・早寝早起きなど、生活習慣・生活リズムを大切にしてほしい。免疫力も高めることができる。
- ・食育に関心をもち、意識して実践し、生活する。
- ・メリハリのある生活をするには、時間の使い方が大事になる。大人になっても同じことが言える。

グリーン作戦収益金のお礼

8月1日に実施したグリーン作戦において、中学生が担当した空き瓶回収の収益金12,200円を、渦東地域コミュニティ協議会より、生徒会に寄贈していただきました。ありがとうございました！有効に使わせていただきます。



ねぎとカモ

3年生

総合的な学習「渦東いいところ自慢」の学習の一環です。



12/10 学校畑で育てた長ネギの収穫をしました



12/20 長ネギ販売の様子



12/16 猫友会長による「カモ猫」のお話



12/21 ねぎ焼き&カモ汁作り

たくさんの方から手伝っていただき、おいしいねぎ焼きとカモ汁をいただきました。ありがとうございました！



渦東小学校では、毎月第3水曜日に読み聞かせをしています。

ボランティアに参加してくださる方を募集しています！興味がある方、とりあえず見学してみたい方は渦東小学校地域教育コーディネーターまでご連絡ください！（渦東小学校 0256-86-2205）



新しい自治会長が決まりました！

自治会等名	会長名(敬称略)	自治会等名	会長名(敬称略)
井随自治会	渡辺 豊一	番屋自治会	小川 謙一
島方集落会	湯川 勝茂	茨島自治会	大原 茂男
三方自治会	笹崎 清司	称名自治会	竹内 一広
横戸自治会	水野 輝彦	今井自治会	平松 秀明
遠藤自治会	星野 学	国見・南自治会	山保 政栄
卯八郎受自治会	相田 一義	大曾根自治会	田中 隆
五之上集落会	大谷 幸一	美里自治会	片野 正紀
大原集落会	加藤 長英 新		

よろしくお願ひします

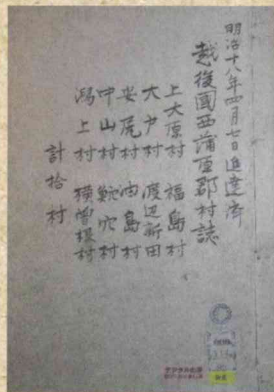
湯東文化への誘い

—もっと知りたい湯東の歴史・人・風土—

福田則男

第十二回 一五〇年前の村の姿を伝える「皇国地誌」

今から約一五十年前の明治八年（一八七五）、明治政府は全国の村々に地誌（その土地の有り様）を書いて提出するよう命じます。この地誌をもとにして編纂されたのが「皇国地誌」と云われるものです。旧湯東村で言えば「湯東村勢要覧」です。湯東地域では、この時の上大原村の地誌と、茨島村の地誌が伝わっています。



「上大原村地誌」は新潟県が他の村とまとめ、県立図書館が所蔵しています。



「越後国蒲原郡茨島郷誌」と書かれた地誌は茨島地区に保存されています。

内容は村の範囲・歴史・土地の有り様・戸数・舟・堀・橋・道路などで、村のおもだった人が書き記し県に提出しました。上大原村地誌を読むと、舟は六十八隻あり、リンゴも栽培、女性には紡糸をしていることなど当時の状況がわかってきます。

茨島村地誌には、用水不足のため、十一月より雪水確保に二十町歩の囲堰を設けたこと、検税舟が十一隻あること、道路は称名境より番屋に至るとあり、現在の巻く白根線（四六〇号線）はまだ無かったことがわか

ります。また火葬場は本村より北東の方とあり、現在の巻く白根線の道路付近と考えられます。

このように二方村の地誌から、今ではわからない一五〇年前の村の姿を知ることができます。上大原村、茨島村以外にも、それぞれの地区（村）に控えが保存されていると考えられます。自分の村の地誌を発見したら是非、皆さんも読んで見てはいかがでしょうか。

ご意見・ご要望もお待ちしております。



湯東地域コミュニティ協議会
新潟市西蒲区三方2番地

（湯東地域コミュニティセンター内）

TEL/FAX 0256-86-3123

EX-ル katacommu@honey.ocn.ne.jp



編集後記

- いろんなことがありましたが、落ち着いたら温泉でのんびりして、カニ食べたいな〜。（M・K）
- 先日、初のリモート会議がありましたが、落ち着いた会議に集中できるのは、自宅にいないからだとわかりました。（M・N）

毎週月曜日は飲マNDER



肝臓・胃腸を
休ませよう！

